

昭島市教育委員会 殿

学 校 名 昭島市立昭和中学校

校長氏名 長野 基



令和6年度教育課程について（届）

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級（知的障害）の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

生徒一人一人の良さを認め、可能性を引き出し持続可能な社会の創り手を形成するために
『夢への挑戦 ～広げよう可能性 高めよう創造性～』

(2) 特別支援学級の教育目標

誰からも愛され、社会に出ても困らない生徒、自分で考え行動できる生徒を育てる

ア 素直な心と前向きな気持ちを育て、自己肯定感の向上を支える。

イ 社会生活に必要な、身辺自立、礼儀、規範意識、基礎学力、基礎体力の習得を支える。

ウ 自分で考え行動するために必要な、技能、思考力、判断力、表現力の向上を支える。

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

ア 振り返りの機会を多くとり、自己理解を深めさせる。

イ 対話や他者を理解する場面を多くもち、自他を大切に認め合う気持ちを育む。

ウ 個に応じたスモールステップの課題を提示し、その進歩と成長を評価する。

エ 行事や日常生活の中で、豊富な成功体験を積みせ、評価することで自己肯定感を育てる。

オ 協力し助け合う場面を日常的に設定し、成就感や友情を深める体験を多く積みさせる。

カ 道徳科の授業を中心に、生命尊重や文化理解などを取り上げ、豊かな心情を育てる。

キ 学級での生活全体を通して礼儀、あいさつ、敬語、（目上の）人との接し方を身に付けさせる。

ク 身だしなみ、清潔感、食事マナーなど身の回りのことに適切に対応する習慣を付けさせる。

ケ 学びの楽しさや達成感を味わえる場面を増やし、生涯学習の礎となるようにする。

コ 個に応じた指導目標と学習課題を設定し、基礎学力向上を目指す。

サ 元気アップガイドブックの活用や学校行事を通し、持久力、基礎体力、集中力の向上を目指す。

シ 様々な大きさの集団を経験する中で、集団の一員としての帰属意識や役割意識をもたせる。

ス 避難訓練や防災ノートを活用し、継続した感染症対策で安全面・健康面を守る意識を高める。

セ 結果ではなく、考え方、取り組み方を学ぶことを重視し、自分でできたという経験を重視する。

ソ 次の行動は生徒自身に考えさせることを意識し、自主的な行動を待てる余裕をもつ。

タ 合理的配慮と失敗させないための先回りの必要性との違いをよく考えた上で、指導に当たる。

チ 生徒の自己有用感を高めるために、生徒への対応は傾聴、共感する姿勢を基本とする。

2 指導の重点

(1)各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の重点

ア 各教科

- (ア) 個別指導計画、教科の特性を考慮し、一斉・学年別・到達度別・縦割り等のグループ編成を工夫し指導する。国語・数学は、個々の習熟度を踏まえ、個に応じた指導を充実させる。
- (イ) 個別最適な学びと協働的な学びの視点から、主体的・対話的に学べる内容を設定し、各授業時間の指導目標は日常生活で活用できる実践的な力を身に付けられるよう設定する。
- (ウ) ICTの活用について、興味関心を高めるとともに、情報モラルへの理解も深める。

イ 道徳科

- (ア) 特別の教科 道徳の授業を要とし、「ハートフル昭和」をスローガンに教育活動全体で指導する。
- (イ) 対話を通じた授業で自己を見つめ、物事を多面的に考える力を養う。

ウ 総合的な学習の時間

- (ア) 探究や体験活動を主軸に、行事の事前事後学習などに取り組む過程で、今現在や将来の生活に役立つ知識・技能を習得し、生活する力や適切な判断力、課題解決力を培う。
- (イ) 様々なスポーツやオリンピック・パラリンピック教育を生かしたレガシー教育、SDGs等を取り上げ、興味や関心の幅を広げる。

エ 特別活動

- (ア) 通常の学級の生徒との交流を深めながら、校内の各行事（移動教室・修学旅行・体育祭・音楽祭など）に参加し、集団への所属意識や連帯感を育成する。
- (イ) 連合行事などへの参加を通して、協力し合う心や、試練に耐え、立ち向かう強い心を培う。

オ 自立活動

- (ア) 学校生活全般を通して、情緒の安定・コミュニケーション能力の育成を図る。また、宿泊学習を通して身の整理や時間の意識などを高め、自立へ向けた態度や能力を育てる。
- (イ) 生徒の障害の実態に合わせ、各教科や各教科等と関連付けて、指導を行い、心身の基盤を養う。

カ 各教科等を合わせた指導

- (ア) 日常生活の指導
身の自立のための基本的な生活習慣の確立を図るとともに、ソーシャルスキルの学習を通して、自己理解、他者理解、人間関係の問題を解決できる能力を育てる。
- (イ) 生活単元学習
宿泊学習等の行事を通し、自立的な生活に必要な知識や技能を習得し、適切な判断力を培う。
- (ウ) 作業学習
指示を適切に理解し、根気よくかつ正確に作業できる能力を育てる。
自分の責任を果たすとともに、仲間と協力しながら、効率的に作業を進める能力を育てる。

(2) 生活指導の重点

- ア 基本的生活習慣（身の処理、あいさつ、言葉遣いなど）を身に付けさせる。
- イ いじめや不登校などの諸課題に対して組織的な校内体制の構築により、未然防止、早期発見、早期対応のための生徒の実態の把握ときめ細かな指導に努める。

(3) 進路指導の重点

- ア 社会自立に向けて必要な力を、教育活動全体を通して身に付けさせる。
- イ 保護者や関係諸機関と連携し、生徒の希望、個性、到達度に応じて自己理解を促し進路指導の充実に努める。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動・その他の配慮事項等

- ア 保護者の協力を得て医療・福祉との連携を図り、個別に学校生活支援シートを作成し指導に生かす。
- イ 保護者と共に個別指導計画を作成し、それに基づき学期毎に計画的・組織的な指導を行う。
- ウ 課題を主体的に解決する活動に取り組みせ、思考力、判断力、表現力、自己決定力等を育む。
- エ ケース会議の設定等、家庭・地域と連携・協力体制を重視し、保護者をサポートする。
- オ 「1組コミッティ」を活用し、通常の学級の生徒との交流と相互理解を一層推進する。
- カ 「1組クラブ」や部活動への参加を呼びかけ、体力・達成感・協調性の向上につなげる。
- キ 連合行事（球技大会・マラソン大会等）に参加し、経験を広げ、他校との交流を図る。
- ク 職場体験等の就労に関する体験を充実させ、達成感や自己有用感を高め、職業観・勤労観を育む。
- ケ 奉仕活動の機会を設定し、奉仕精神や愛郷心を育て、地域貢献への意欲を高める。
- コ 主体性と思考力及び表現力を育むために、各教科で個別最適な学びと協働的な学びを充実する。

第2表の1

学校名 昭島市立 昭和中学校（特別支援学級）

4 授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
1		16	22	20	14	1	19	22	20	18	17	18	16	203
2		17	22	20	14	1	19	22	20	18	17	18	16	204
3		17	22	20	14	1	19	24	20	18	17	18	12	202
備 考	○4月、1年生は始業式4月8日に参加せず、入学式4月9日に参加、 2、3年生は始業式4月8日に参加し、入学式4月9日にも参加するため1日増となる。 ○3年生は卒業式が3月18日で4日減となるが、修学旅行で授業日2日増により、年間で2日減となる。 ○1年生は2月4日（日）～6日（火）移動教室で授業日1日増になるが、7日（水）振替休業日となり 1日減となるため、増減なしとなる。 ○令和6年4月20日（土）、5月11日（土）、6月1日（土）、11月9日（土）、令和7年3月8日（土）を授業日とする。 令和6年6月1日（土）の振替休業日を6月3日（月）とする。 令和6年12月7日（土）の振替休業日を12月9日（月）とする。 令和7年3月8日（土）の振替休業日を3月10日（月）とする。													

(2) 各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の年間授業時数配当表

① 各教科

教科名		学年	1	2	3
各教科	国	語			
	社	会			
	数	学			
	理	科			
	音	楽			
	美	術			
	保 健 体 育				
	技 術 ・ 家 庭				
	外 国 語				
を知的・行動的・障害・特別支援・学級・校生の徒に教対する教育		内 容			
	国語	読む・書く・意思の伝達理解	130	130	128
	社会	地理・歴史・公民的分野	33	34	32
	数学	数概念・量と測定・図形	130	130	128
	理科	自然と人間生活・化学的実験	33	34	33
	音楽	歌唱・器楽・鑑賞・表現	68	68	66
	美術	絵・彫刻・デザイン・工芸	65	65	63
	保健体育	球技・陸上・水泳・表現	148	148	144
小 計	職業・家庭	木工・パソコン・衣食住生活	130	130	126
	外国語	アルファベット・ALTとのコミュニケーションを含めた日常会話	35	35	35
小 計			772	774	755

② 道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

内容・学年 指導の形態	内 容	1	2	3
道徳科	校則や社会のルールに基づき、道徳的な心情、判断力、実践力を養う。	35	35	35
総合的な学習の時間	探究・体験的活動やスポーツ活動等を通して、判断力、課題解決力を培う。	75	76	78
特別活動 (学級活動)	集団活動に向けての話し合い、行事に向けての活動、生徒会活動を活性化する。	44	46	47
自立活動				
小 計		154	157	160

③ 各教科等を合わせた指導

内容・学年 指導の形態	内 容	1	2	3
日常生活の指導	健康観察、清潔、挨拶、日課に沿った行動、礼儀作法等	33	34	34
生活単元学習	行事に向けた事前事後学習等	34	35	35
作業学習	手工芸、紙工芸、清掃活動等	35	35	35
小 計		102	104	104

(3) 年間総授業時数

年間総授業時数 (①+②+③)		1	2	3
		1028	1035	1019
備 考	ア 1単位時間を50分とする。 イ 個々の発達段階及び教科の特性に応じて 全体・グループ別等の指導を行う。 ウ 自立活動は各教科など全教育活動の中で行う。			

第3表の1

学校名 昭島市立昭和中学校(特別支援学級)

学校行事

月 曜・行事 日		4		5		6		7		8		9	
曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	月			水		土	体育祭 お弁当の日 ふれあい月間始 体力・運動能力調査 始	月		木		日	
2	火			木	安全指導 (引き取り訓練)	日		火		金		月	
3	水			金	憲法記念日	月	振替休業日	水		土		火	給食始
4	木			土	みどりの日	火		木	避難訓練	日		水	
5	金	春季休業日終		日	こどもの日	水		金		月		木	
6	土			月	振替休日	木		土		火		金	
7	日			火	級 家庭訪問・三者面談始	金		日		水		土	
8	月	始業式		水		土		月		木		日	
9	火	入学式		木		日		火		金		月	安全指導
10	水			金		月	学級満足度調 査 開校記念日	水		土		火	
11	木	安全指導		土	学校公開	火		木		日	山の日	水	
12	金	定期健康診断開始 給食始		日		水	小中連携の日	金		月	振替休日	木	
13	土			月	級 家庭訪問・三者面談終	木		土		火	学校閉庁日	金	
14	日			火		金		日		水	学校閉庁日	土	
15	月			水		土		月	海の日	木	学校閉庁日	日	
16	火			木	避難訓練	日		火		金	学校閉庁日	月	敬老の日
17	水			金	お弁当の日	月	避難訓練	水		土		火	
18	木			土		火		木	給食終	日		水	級 職場体験(2)始
19	金			日		水	期末考査始	金	終業式・安全指導	月		木	級 職場体験(2)終
20	土	土曜授業 セーフティ教室		月		木		土		火		金	
21	日			火		金	期末考査終 合 球技大会	日		水		土	
22	月			水		土		月	夏季休業日始 夏季補習教室始 級 夏季補習教室	木		日	秋分の日
23	火	避難訓練		木		日		火		金		月	振替休日
24	水			金		月	安全指導	水	級 夏季補習教室終	土		火	避難訓練
25	木			土		火		木		日		水	
26	金			日		水		金	夏季補習教室終	月		木	中間考査始
27	土			月	安全指導	木		土		火		金	中間考査終
28	日			火		金	ふれあい月間終 定期健康診断終 体力・運動能力調査 終	日		水		土	
29	月	昭和の日		水		土		月		木	夏季休業日終	日	
30	火			木		日		火		金	始業式	月	
31				金				水		土			

第3表の2

学校名 昭島市立昭和中学校(特別支援学級)

月	10		11		12		1		2		3	
曜・行事 日	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	火	都民の日	金	ふれあい月間始	日		水	元日	土		土	
2	水		土		月		木		日	移動教室始(1)	日	
3	木		日	文化の日	火		金		月		月	
4	金		月	振替休日	水		土		火	移動教室終(1)	火	
5	土		火		木		日		水	振替休業日(1)	水	
6	日		水		金		月		木	小中連携の日	木	避難訓練
7	月	安全指導	木		土	道徳授業地区公開講座 学校公開	火		金		金	救急救命講習(2)
8	火		金		日		水	始業式 安全指導	土		土	学校公開(総合 学習発表会等)
9	水		土		月	振替休業日	木	給食始	日		日	
10	木		日		火		金		月	安全指導	月	振替休業日
11	金	修学旅行始(3)	月	振替休業日	水		土		火	建国記念の日	火	
12	土		火		木	合 マラソン大会	日		水		水	
13	日	修学旅行終(3)	水	期末考査始	金	合 マラソン大会予備日	月	成人の日	木		木	
14	月	スポーツの日	木		土		火		金		金	
15	火		金	期末考査終	日		水		土		土	
16	水		土		月	安全指導	木	避難訓練	日		日	
17	木		日		火		金	合 合同学習発表会リハーサル	月		月	
18	金		月	安全指導	水		土	合 合同学習発表会	火	避難訓練	火	卒業式
19	土		火		木		日		水		水	
20	日		水		金		月	級 振替休業日	木		木	春分の日
21	月		木		土		火		金	お弁当の日	金	給食終
22	火		金	避難訓練	日		水		土		土	
23	水	小中連携の日	土	勤労感謝の日	月	避難訓練	木		日	天皇誕生日	日	
24	木	避難訓練	日		火	給食終	金		月	振替休日	月	
25	金		月		水	終業式	土		火	期末考査始	火	修了式 離任式
26	土		火	体験型英語学習(2)	木	冬季休業日始	日		水		水	春季休業日始
27	日		水		金		月		木	期末考査終	木	
28	月		木	級 宿泊学習始	土		火		金		金	
29	火		金	級 宿泊学習終 ふれあい月間終	日		水				土	
30	水		土		月		木				日	
31	木	音楽祭 小中連携の日 お弁当の日			火		金				月	